

浜坂温泉郷  
国民保養温泉地計画書

平成 28 年 6 月  
環 境 省

— 目 次 —

1	温泉地の概要	P 1
2	計画の基本方針	P 4
3	自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	P 5
4	医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は入浴方法の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	P 7
5	温泉資源の保護に関する取組方針	P9
6	温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	P11
7	温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策	P13
8	高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	P18
9	災害防止策に係る計画及び措置	P21

<添付資料>

・ 国民保養温泉地位置図	P23
・ 国民保養温泉地区域図	P24

## 1 温泉地の概要

浜坂温泉郷は、兵庫県美方郡新温泉町の浜坂地区、七釜地区及び二日市地区の別添図面に表示する区域の総称であり、その面積は約 3.58 k m<sup>2</sup> (図上測定) である。

新温泉町は、兵庫県の北西部に位置し、総面積 241 k m<sup>2</sup> である。北は日本海に面し、海岸線は、東西に 18 k m 延び、南東は香美町、西は鳥取県岩美町に接する、全面積の 50.93% が山林である。

内陸部は 1,000 メートル級の山々に囲まれ、また山陰海岸ジオパークの中央に位置し、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園等の自然公園指定区域が面積の 46.3% を占めており海と山と温泉を包含する豊かな自然環境を有している。

町最大の岸田川が日本海に注いでおり、河川流域に集落、平坦な耕地を形成しており、南部はおおむね山地地帯であって、山地の多くは北に面し地勢は傾斜し、日本海にむかって開けた、海・山・温泉の町である。

新温泉町の人口は、16,004 人 (平成 22 年国勢調査) で、平成 17 年 (17,467 人)、平成 12 年 (18,601 人) と比べ減少傾向にある。

### (1) 浜坂地区

浜坂温泉は、昭和 53 年旧浜坂町役場近くで、消雪用水源掘削中に温泉の兆候が現れ、本格的調査で温泉を掘りあてた。

昭和 56 年に、通産省の地域エネルギー開発利用モデル事業の第 1 号として「地熱水の広域定温供給システムによる多目的利用モデル事業」で整備し、昭和 57 年 6 月から集中管理方式により一般家庭及び浜坂海岸レクリエーションセンター、高齢者いきがい施設ユートピア浜坂、浜坂温泉保養荘、町営住宅宇都野団地、旅館・民宿等 15 軒へ配湯している。配湯能力は 1,200 戸で、平成 27 年 3 月 31 日現在 671 戸が利用している。

浴用の適応症は、神経痛、筋肉痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病である。

また、この地域は、山陰海岸国立公園 (質的にも位置的にも中心となるのが名勝天然記念物但馬御火浦を擁する浜坂海岸) に指定 (昭和 38 年 7 月 15 日) されて以来、浜坂県民サンビーチを中心とした夏場の海水浴、キャンプと、但馬御火浦を巡る観光遊覧船、さらに、冬場の温泉、カニ料理などレクリエーション、保養の適地である。

### (2) 七釜地区

七釜温泉は、浜坂温泉の中心地より東南 3 k m に位置し、岸田川畔ののどかな田園風景の中にある静かな農村集落である。

昭和 37 年に温泉が湧出し、昭和 53 年 4 月から集中管理方式により旅館・民宿 14 軒、浜坂七釜温泉病院、介護施設、共同浴場に配湯しており、田園風景の中でゆっくりくつろげる保養温泉地である。

浴用の適応症は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔病、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病である。

平成 3 年以降、ふれあい・やすらぎ温泉地整備事業等の支援を実施し、豊かな自然・効用のある温泉に親しんでもらうため、日帰り入浴施設「七釜温泉ゆ〜らく館」や「バイカモ公園」の整備を実施してきた。

地区のみどころとしては、玉田寺の庭園、田園風景、岸田川の川釣り、七釜である。少し離れた田君川に低地域としては世界的にも貴重なバイカモが群生している。

### (3) 二日市地区

二日市温泉は、J R 浜坂駅より東に 2.5 k m に位置し、田園風景の中にある静かな農村集落である。

昭和 39 年に温泉を開発し、公立浜坂病院と介護老人保健施設、介護老人福祉施設、デイサービス施設に配湯している。

浴用の適応症は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔病、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病である。

この地区は、田園風景、岸田川の川釣りでゆったりくつろぐことができる。



図1 山陰海岸国立公園

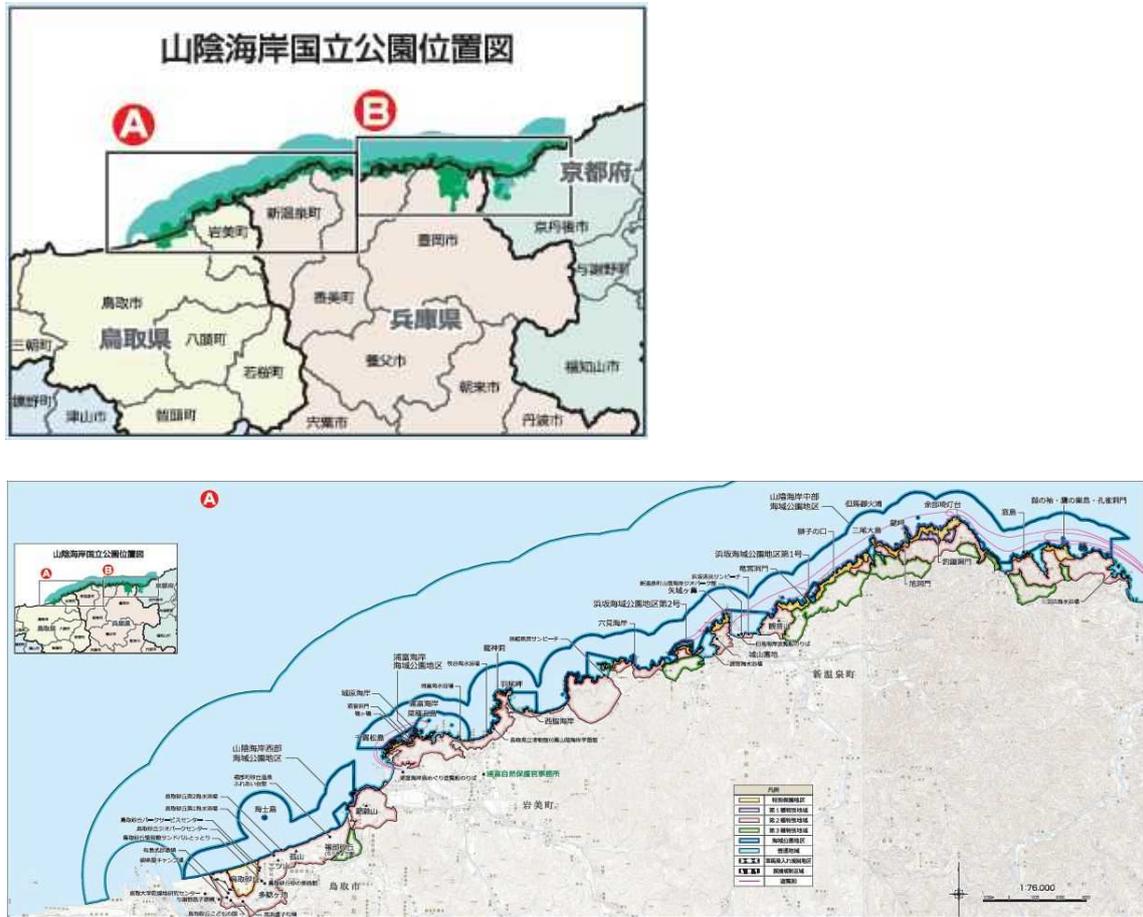


図2 山陰海岸ジオパーク



## 2 計画の基本方針

浜坂温泉郷は、新温泉町の総合計画にて掲げる将来像「海・山・温泉 人が輝く夢と温もりの郷 ～安らぎと憩いの空間 新温泉町～」を基調として、自然環境・景観と調和しつつ地域の歴史・文化を活用し、保養・休養の場として来訪者にとって、より魅力のある温泉地を目指していくこととする。

その方策として、以下の施策を推進する。

- (1) 恵まれた自然を守るため、自然環境の保全に配慮しながら、海、川、山などを活かしたふれあいの場、レクリエーションの場づくりを進め、良好な自然環境の有効活用を進める。
- (2) 温泉を保護し利用の増進を図るため、温泉の湧出量、温度、泉質の変化などを常に配慮し温泉配湯の長期的な安定確保に努め、安定的な温泉供給体制を確立する。
- (3) 道路、海岸などの環境美化を広報活動により啓もうするとともに、自治会、各種団体の連携を強化し環境美化意識の高揚を図る。  
また、側溝の清掃、河川、海岸一斉清掃、空カンなどの投げ捨て防止活動など地域の自主的実践活動の定着化を促進し、身近な生活環境の浄化を推進する。
- (4) 国民の療養、保養、休養の場として整備し、利用者の増加をはかるとともに歓楽地化を防止する。



### 3 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

#### (1) 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

浜坂温泉郷は、山陰海岸国立公園及び山陰海岸ジオパーク内にあり、近くには2級河川岸田川が流れ、南部の囲まれた山々は氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園等山地等に指定されており自然豊かな地域である。

また、古くから漁業を中心として商工業が発展し、地形的背景から良質な水に恵まれることから、酒造業も盛んであった。

近世以降、針金の生産が行われるようになり、「みすや針」の名で全国に知られるようになった。その技術は、現在もダイヤモンドレコード針や機械針等に受け継がれている。

この地域には、宇都野神社や大家神社など、歴史のある神社が数多く残されており、「麒麟獅子」・「川下祭り」など数多くの民俗文化財が伝承されている。

この様に、浜坂温泉郷は豊かな自然環境と歴史・文化に育まれた地域である。

#### (2) 取組の現状

浜坂温泉郷は、昭和38年7月15日に山陰海岸国立公園に指定され自然公園法に基づき温泉地内の自然景観が保たれている。

山陰海岸ジオパークは、平成26年9月23日に世界ジオパーク国際ユネスコ会議で世界ジオパークに再認定を受けており、地形や地質を生かした地域づくりに向けた取組について評価を得ている。

兵庫県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物及び広告物を掲出する物件並びに屋外広告業について必要な規制を行うことにより、良好な景観若しくは風致の維持及び公衆に対する危害を防止し、併せて地域の良好な景観の形成を図っている。

更に、兵庫県景観の形成等に関する条例に基づく景観形成地区及び、新温泉町景観形成条例に基づく特別誘導区域に指定されている、浜坂味原川周辺地区（歴史的景観形成地区）では、まちなみの特徴と課題を踏まえ、地域住民が暮らしやすく誇りに思えるまちづくり、自然の風景や歴史文化の蓄積による情緒を求める来訪者が再び訪れたいくなるまちづくりを目指し、取り組んでいる。

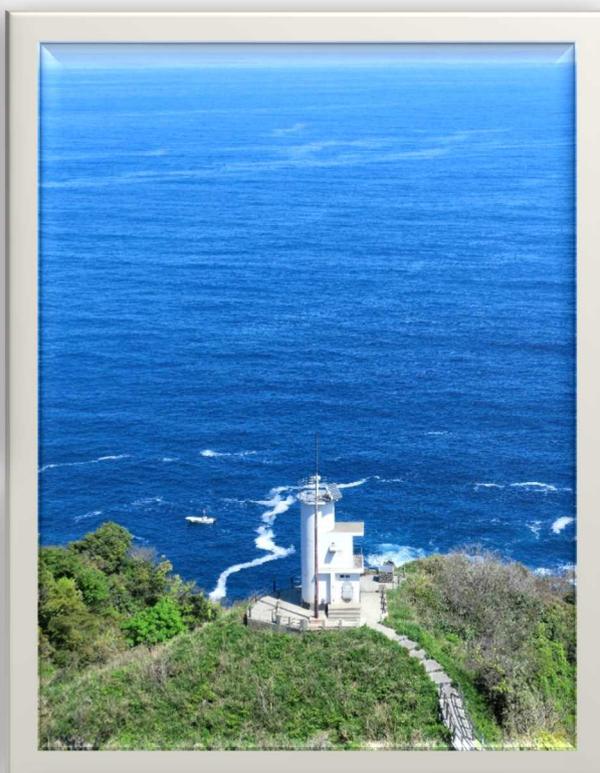
景観形成基準の基本的な考え方は、次のとおりである。

- ①豊かな自然環境を生かす。
- ②味原川がつくる景観を生かす。
- ③地域の歴史文化に配慮する。
- ④地域の生活文化を大切にす。

また、浜坂温泉郷においては、住民・温泉利用事業者その他の事業者から構成される団体で、常時、海岸等を中心に美化清掃活動を実施している。

### (3) 今後の取組方策

浜坂温泉郷において、さらに自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化の維持・保全等を図るため、関係機関等と調整の上、(2)の取組みを継続するとともに、それらに加え温泉地内の住民、事業者から構成される、ジオパークガイドが、新温泉町等の協力を得て、自然との共生・自然環境・地域資源の啓発・保護について取組みを進める。



#### 4 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

##### (1) 医師又は人材の配置の状況

浜坂温泉郷では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
公立浜坂病院 所属医師	麻酔科 内科 外科	公立浜坂病院において、入浴客の体調不良等に対応。	平成3年～

##### (2) 配置計画又は育成方針等

浜坂温泉郷では、(1)の医師及び人材の配置を継続しつつ、温泉利用及び温泉を利用した健康増進等の相談に関して医師が対応できる体制の構築に努める。

また、施設において健康増進及び疲労回復等のための温泉利用を安全かつ適切に実施できるように、温泉入浴指導員の育成に努める。

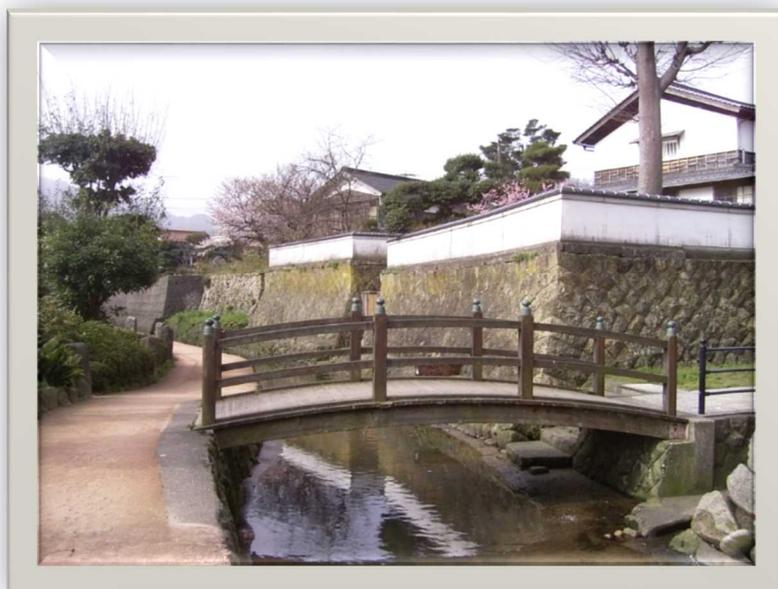
人材	活動内容	配置年度
温泉入浴指導員	各宿泊施設に配備できるよう温泉入浴指導員の育成に努める。	適宜

##### (3) 医療施設

指定区域内には、医療施設として次のものがある。

区域	医療機関名	住所	診療科
	高木医院	兵庫県美方郡 新温泉町浜坂2074-1	内科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 小児科, リハビリテーション科
浜坂温泉	浜辺医院	兵庫県美方郡 新温泉町浜坂1261-2	内科, 消化器科, 小児科, 外科, 皮膚科
	あおぞらこどもクリニック	兵庫県美方郡 新温泉町芦屋130-1 ル・シェル・ブルーASHIYA1F	内科, 小児科

区域	医療機関名	住所	診療科
七釜温泉	浜坂七釜温泉病院	兵庫県美方郡 新温泉町七釜 904	内科, 外科, リハビリテー ション科
二日市温泉	公立浜坂病院	兵庫県美方郡 新温泉町二日市 184-1	内科, 小児科, 外科, 整形外 科, 麻酔科, 耳鼻咽喉科, リハビリテー ション科



## 5 温泉資源の保護に関する取組方針

### (1) 温泉資源の状況

浜坂温泉郷における、主な泉質は「ナトリウム・カルシウム」「硫酸塩高温泉」「硫酸塩泉」「塩化物泉」であり、現在、6つの源泉があり、28件の宿泊施設、温泉施設に利用されている。

源泉名	温度(℃)	湧出量(ℓ/min)	湧出状況	源泉所有者	泉質	利用施設	
浜坂温泉第2	66.8	737	動力	新温泉町	ナトリウム・カルシウム—塩化物泉	一般家庭	671
					(Na・Ca-Cl泉)	会社職員寮	2
浜坂温泉第3	73.6	396	自噴	新温泉町		旅館・民宿	11
					公共施設	2	
亀城温泉	25	257	動力	民間	旅館	0	
					(休止中)		
七釜温泉第2	49.1	84	自噴	新温泉町	ナトリウム・カルシウム—硫酸塩高温泉	旅館・民宿	14
					(Ca・Na-SO4泉)	共同浴場	1
七釜温泉第3	51.3	420	動力	新温泉町		病院	1
					ディサービス	2	
二日市温泉	46.9	220	動力	新温泉町	カルシウム・ナトリウム—硫酸塩泉	公立病院	1
					(Ca・Na-SO4泉)	ディサービス	1
						介護施設	2

### (2) 取組の現状

浜坂温泉郷における、各源泉について、現在講じているその保護に関する取組の状況は、以下のとおりである。

源泉名	取組	実施主体
浜坂温泉第2	補助源泉であり、使用量の多い夜間に使用し配湯量を確保するとともに、第3号源泉のポンプ取替工事等の場合にも使用	新温泉町
	温度、湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積	
浜坂温泉第3	温度、湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積	新温泉町
亀城温泉	休止中	源泉所有者

源泉名	取組	実施主体
七釜温泉第2	温度、湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積	新温泉町
七釜温泉第3	温度、湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積	新温泉町
二日市温泉	温度、湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積	新温泉町

### (3) 今後の取組方策

浜坂温泉郷において、温泉資源の保護を一層推進するため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

源泉名	取組	実施主体	実施予定年度
浜坂温泉第2	温度、湧出量の計測を毎日定期的に行うとともに、異常時に対応できるよう自動通報装置を設置し、資源保護に努める。	新温泉町	H28
	源泉の適切な管理を行う為、流量計の更新を予定。また、温度・湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積する。		
浜坂温泉第3	温度、湧出量の計測を毎日定期的に行うとともに、異常時に対応できるよう自動通報装置を設置し、資源保護に努める。	新温泉町	H28
	源泉の適切な管理を行う為、流量計の更新を予定。また、温度・湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積する。		
亀城温泉	休止中	源泉所有者	
七釜温泉第2	今後の配湯量増加に備え、温度・湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積する。	新温泉町	H28
七釜温泉第3	温度、湧出量の計測を毎日定期的に行うとともに、異常時に対応できるよう自動通報装置を設置し、資源保護に努める。	新温泉町	H28
	源泉の適切な管理を行う為、流量計の更新を予定。また、温度・湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積する。		
二日市温泉	源泉の適切な管理を行う為、流量計の更新を予定。また、温度・湧出量の計測を毎日行い、変化を見ながらデータを蓄積する。	新温泉町	H28

## 6 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

### (1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

浜坂温泉郷において、温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は以下のとおりである。

温泉名	源泉数	浴用利用施設及び飲用利用施設までの設備	施設数	
			浴用	飲用
浜坂温泉	2	引湯管、貯湯槽、配湯ポンプ、配湯管、給湯管	13	
亀城温泉	1	休止中	1	
七釜温泉	2	引湯管、貯湯槽、配湯ポンプ、配湯管、給湯管	18	
二日市温泉	1	引湯管、貯湯槽、配湯ポンプ、配湯管、給湯管	4	

### (2) 取組の状況

浜坂温泉郷において温泉利用に当たって使用している設備について、現在行っている衛生面での取り組みの状況は、以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	源泉については、源泉室内の点検（汲み上げ量、温度等の計測）及び清掃を毎日実施。	新温泉町
引湯管等	自主的	源泉の引湯管等について、点検を毎日実施。	新温泉町
貯湯槽	自主的	すべての貯湯槽について、点検を毎日実施。	新温泉町
配湯ポンプ	自主的	点検を毎日実施	新温泉町
配湯管	自主的	【浜坂温泉】 配湯管について、薬剤注入によりスケール防止に努め、ドレンバルブにより排泥掃除を毎月1回実施。	新温泉町
	自主的	【二日市温泉】 ドレンバルブにより排泥掃除を毎月1回実施	新温泉町

設備	区分	取組	実施主体
配湯管	自主的	【七釜温泉】 薬剤注入の配管清掃、ドレン等の点検及び排泥掃除を月2回実施。	新温泉町
給湯管	自主的	薬剤注入によりスケール防止を実施	新温泉町
貯湯槽	自主的	すべての貯湯槽について、点検及び清掃消毒を年2回実施。	各設備所有者
	条例	すべての浴槽については、毎日（循環ろ過装置を設定している浴槽にあっては、1週間に1回以上）、浴槽水を完全に排出し、清掃を実施。	各設備所有者
浴槽	条例	すべての浴槽について、十分な温泉水の補給を行い清浄を保持。	各設備所有者
	条例	すべての浴槽について、レジオネラ菌属、大腸菌群数等の検査を年1回以上実施。	各設備所有者
設備周辺	自主的	すべての設備周辺について、管理者を置き清掃の徹底による衛生保持。	各設備所有者

### (3) 今後の取組方策

浜坂温泉郷において、さらに温泉を衛生に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続していくとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

設備	区分	取組	実施主体
引湯管等	自主的	引湯管等、老朽化の著しい設備について適切な管理を継続し、必要に応じて修繕や更新を検討する。	新温泉町
貯湯槽	自主的	貯湯槽等、老朽化の著しい設備について適切な管理を継続し、必要に応じて修繕や更新を検討する。	新温泉町
給湯管等	自主的	【ユートピア浜坂】 給湯管等、老朽化の著しい設備について適切な管理を継続し、必要に応じて修繕や更新を検討する。	新温泉町
浴槽	自主的	【ゆ〜らく館】 桧風呂について、必要に応じて修繕や更新を検討する。	各設備所有者

## 7 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

### (1) 温泉の公共的利用の状況

浜坂温泉（第2・3源泉）は、湧出量が豊富で温泉宿に限らず浜坂地区、芦屋地区の一般家庭へも配湯しており、配湯戸数は全国有数を誇っている。

この事業は、昭和56年に通産省の地域エネルギー開発利用モデル事業の第1号に指定され、「地熱水の広域定温供給システムによる多目的利用モデル事業」で整備し、昭和57年から配湯開始している。

昔ながらの古い街並みが、今もたくさん残っており、身近にある風景の一つひとつが町の暮らしを物語っている、各家庭に引いた「温泉」のお湯が蛇口をひねると疲れたところと体を癒してくれる、落ち着いた雰囲気温泉地である。

七釜温泉は、昭和37年に温泉が湧出し、昭和53年4月から集中管理方式により旅館・民宿14軒、浜坂七釜温泉病院、デイサービス施設、共同浴場に配湯しており、田園風景の中でゆっくりくつろげる保養温泉地である。

二日市温泉は、昭和39年に温泉を開発し、公立浜坂病院リハビリ部門（温泉医学を応用して障害後遺症の機能回復）と介護老人保健施設等に配湯している、眺望は田園風景の中にある静かな農村集落である。

近年の浜坂温泉郷の利用状況は、次のとおりである。

①過去3年間の温泉の利用者数				単位（人）
温泉名	年度	宿泊利用者	日帰利用者	合計
浜坂	平成24年度	20,756	80,169	100,925
	平成25年度	24,164	78,534	102,698
	平成26年度	24,011	78,496	102,507
七釜	平成24年度	16,428	67,364	83,792
	平成25年度	16,998	64,549	81,547
	平成26年度	17,412	65,477	82,889
二日市	平成24年度	11,163	8,014	19,177
	平成25年度	11,931	7,725	19,656
	平成26年度	10,416	6,891	17,307
合計	平成24年度	48,347	155,547	203,894
	平成25年度	53,093	150,808	203,901
	平成26年度	51,839	150,864	202,703

②直近1年間（平成26年度）の温泉利用者数				単位（人）
温泉名	年月	宿泊利用者	日帰利用者	合計
	施設数	12	2	14
	平成26年4月	1,284	6,218	7,502
	平成26年5月	1,878	6,974	8,852
	平成26年6月	1,493	5,406	6,899
	平成26年7月	1,902	6,326	8,228
	平成26年8月	2,716	8,856	11,572
浜坂温泉	平成26年9月	1,328	5,304	6,632
	平成26年10月	1,754	5,894	7,648
	平成26年11月	3,153	6,517	9,670
	平成26年12月	2,438	6,677	9,115
	平成27年1月	1,957	7,186	9,143
	平成27年2月	2,007	6,345	8,352
	平成27年3月	2,101	6,793	8,894
	施設数	16	3	19
	平成26年4月	1,168	4,523	5,691
	平成26年5月	1,351	6,097	7,448
	平成26年6月	1,013	3,950	4,963
	平成26年7月	1,332	4,837	6,169
	平成26年8月	1,687	7,534	9,221
七釜温泉	平成26年9月	1,352	4,625	5,977
	平成26年10月	1,331	4,191	5,522
	平成26年11月	1,833	6,282	8,115
	平成26年12月	1,761	5,497	7,258
	平成27年1月	1,693	6,605	8,298
	平成27年2月	1,396	5,701	7,097
	平成27年3月	1,495	5,635	7,130
	施設数	3	2	5
	平成26年4月	922	626	1,548
	平成26年5月	957	611	1,568
	平成26年6月	844	616	1,460
	平成26年7月	868	665	1,533
	平成26年8月	962	585	1,547
二日市温泉	平成26年9月	875	556	1,431
	平成26年10月	813	594	1,407
	平成26年11月	699	529	1,228
	平成26年12月	842	507	1,349

温泉名	年月	宿泊利用者	日帰利用者	合計
	平成27年1月	920	495	1,415
二日市温泉	平成27年2月	834	506	1,340
	平成27年3月	880	601	1,481
合計		51,839	150,864	202,703

## (2) 取組の状況

浜坂温泉郷において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

期 間	取組	実施主体
通年	【JR浜坂駅前足湯】 JR浜坂駅前に足湯を設置し、旅路の疲れを癒すと共に、各温泉利用客を出迎えている。	新温泉町 浜坂観光協会
通年	【かにソムリエの会】 観光ガイド講習会や、料理教室・新メニューの開発等、観光地を盛り上げ、観光客に喜んで戴ける様な様々な活動を実施している。	浜坂観光協会
通年	【公衆無線LAN】 パソコンやスマートフォン利用者の利便性向上やインバウンド対応に WiFi Free Spot サービスを実施。	各設備所有者 浜坂観光協会 七釜温泉旅館組合
通年	【イベント】 「麒麟獅子マラソン大会」等の各イベントへ協賛を行い、入浴券・割引券等を配布している。館内では、季節に併せた装飾を施し、温泉客を楽しませている。その他、温泉集客を上げるイベント等を多数実施している。	浜坂観光協会 七釜温泉旅館組合 七釜区
4月	【ほたるいか祭り】 全国有数のほたるいかの水揚量を誇る漁港であり、毎年開催される「ほたるいか祭り」には豊富な湯量と湯温を利用した足湯を提供している。	浜坂観光協会 他
6月	【バイカモ祭り】 七釜温泉街近くの、田君川バイカモ公園にて毎年開催されるバイカモ祭りへは、足湯等を園内に設置し参加者を楽しませている。	田君区 七釜区 他
7月第3日曜日を挟む前後の3日間	【川下祭り、浜坂ふるさと花火大会】 但馬三大祭の一つ、江戸時代中期から宇都神社の氏子間に継承されてきた兵庫県指定の重要無形民俗文化財「宇都野神社麒麟獅子舞」が浜坂温泉街を、山車、神輿等と練歩き、奉納される。	浜坂川下祭奉賛会 浜坂自治区 浜坂観光協会 他

期 間	取 組	実施主体
7月～8月	【浜坂県民サンビーチと松の庭】 浜坂県民サンビーチと松林「松の庭（砂防林）」は、海水浴やキャンプ客、レクリエーション等を目的としたグループも多く訪れる為、近隣の温泉宿泊施設、公衆浴場等の利用も多い。	浜坂観光協会 他
11月	【浜坂かに祭り】 かにソムリエの調理した食事を提供し、来場客へ足湯のサービスや、入浴割引券等の配布を実施している。	浜坂観光協会 他
随時	宿泊施設等への観光客誘致の為のWiFi設置	新温泉町
平成19年2月	【温泉モニュメント設置】 地域住民（3団体）が主体となって、浜坂温泉郷内の各戸配湯25周年を記念し、温泉の恵みや自然の豊かさに「ありがとう」の心と、まちの再生を祈る証として「感謝の像」を設置し管理している。	あじわら川清流会 但馬浜坂ふるさと塾 但馬浜坂浜の松を大切に する会
平成19年6月	【温泉モニュメント設置】 但馬ふるさと塾では、「大地の恵みに感謝の気持ちを忘れてはならない」と手作りの看板「温泉さんありがとう」を設置、寄贈した。	但馬浜坂ふるさと塾

### （3）今後の取組方策

浜坂温泉郷において、さらに温泉の公共利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、環境の保全、環境配慮に努めながら、同温泉を象徴する、山陰海岸国立公園や山陰海岸ジオパークといった自然資源や歴史のある文化資源を保全・活用する温泉地を目指し、実施主体と調整の上、（2）の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	取 組	実施主体
	温泉入浴施設へ、安全で適切な温泉入浴の指導を行うため、温泉入浴指導員の取得を検討する。	浜坂観光協会
浜坂温泉	共同浴場の利用の仕方をわかりやすく周知するため、利用方法の掲示やホームページへの掲載を実施。	新温泉町 浜坂観光協会
	パンフレット、インターネット等により、広告宣伝を行い浜坂温泉郷を周知。	浜坂観光協会 新温泉町
	温泉宿等への観光客誘致の為のWiFi設置	浜坂観光協会 新温泉町

温泉地	取組	実施主体
浜坂温泉	浜坂温泉郷の中心に位置する、下夕山へ安らぎ・ふれあいの場所を提供するため「もみじ公園」の整備を行う。 現在、公園には53本の紅葉を植樹している。	浜坂自治区 新温泉町
	アクセス道路の整備・保全	兵庫県 新温泉町
	温泉入浴施設へ、安全で適切な温泉入浴の指導を行うため、温泉入浴指導員の取得を検討する。	七釜温泉旅館組合 七釜区
	共同浴場の利用の仕方をわかりやすく周知するため、利用方法の掲示やホームページへの掲載を実施。	新温泉町 七釜温泉旅館組合
七釜温泉	パンフレット、インターネット等により、広告宣伝を行い浜坂温泉郷「七釜温泉」を周知。	七釜区 七釜温泉旅館組合 新温泉町
	メールマガジンを毎月発刊しイベント情報等を発信することで利用促進を図る。	七釜区
	温泉宿等への観光客誘致の為のWiFi設置	七釜温泉旅館組合 新温泉町
	アクセス道路の整備・保全	兵庫県 新温泉町



## 8 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

### (1) 公共の用に供する施設の状況

浜坂温泉郷における、公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施 設	
浜坂温泉	公有施設	公衆用道路	国道 178号 県道 浜坂港浜坂停車場線 他 2 路線 町道 浜坂西線 他
		公衆用トイレ	浜坂白馬公園 浜坂ポケットパーク J R 浜坂駅
		公園	遊歩道 浜坂白馬公園 浜坂ポケットパーク
		公衆浴場等	ユートピア浜坂 浜坂海岸レクリエーションセンター
	私有施設	旅館・民宿	11 軒
七釜温泉	公有施設	公衆用道路	県道 浜坂井土線 他 1 路線 町道 二日市古市線 他
		公衆浴場	ゆ〜らく館
	私有施設	公園	バイカモ公園
		旅館・民宿	14 軒
		温泉使用施設	浜坂七釜温泉病院 介護施設等
二日市温泉	公有施設	公衆用道路	国道 178号 県道 竹田指杭線 町道 二日市古市線 他
		温泉使用施設	公立浜坂病院 介護施設等
		公園	総合グラウンド

## (2) 取組の現状

現在、浜坂温泉郷において、高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取り組みの状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取組	事業主体
	公有施設	道路（歩道）	点字ブロックの設置 修繕と保守管理等	兵庫県 新温泉町
浜坂温泉 七釜温泉 二日市温泉		建築物	兵庫県福祉のまちづくり 条例（施設整備・管理運 営の手引き）に基づき、 高齢者や障害者を含む全 ての人々がいきいきと生 活できる福祉のまちづく りを推進。	兵庫県 新温泉町
		公園	修繕と保守管理等	新温泉町
		身障者用駐車場	ゆずりあい駐車場利用証 の管理と推進。 平成26年度末時点で41件 の証交付。	兵庫県 新温泉町
			手話奉仕員養成講座を段 階的に実施。	新温泉町
			町有施設で対象5施設に ついては、町ホームページ にバリアフリー情報を 掲載、県も同様。	兵庫県 新温泉町

## (3) 今後の取組方策

浜坂温泉郷において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

温泉地	区分	施設	取組	事業主体
浜坂温泉 七釜温泉 二日市温泉	公有施設	道路	路線を調査して、陥没・段差等 の箇所は改修を検討する。	兵庫県 新温泉町
		案内	観光パンフレット、ホームペー ジ等は、外国人旅行者対応の為 に外国語表記への修正を検討す る。	新温泉町 浜坂観光協会
		案内	視覚障害者等の為の点字案内冊 子等の製作を検討する。	七釜区

温泉地	区分	施設	取組	事業主体
浜坂温泉 七釜温泉 二日市温泉	私有施設	施設	各施設に於いて、手摺り等が必要な箇所を整理し、整備していくように検討する。	浜坂観光協会 七釜温泉旅館組合
			旅館・民宿の関係者で手話・介添教室等の実施を検討する。	浜坂観光協会 七釜温泉旅館組合
	その他	地域	兵庫県が進める、「ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針」に基づき、ユニバーサル社会づくり推進地区の指定に向けて検討する。	兵庫県 新温泉町



## 9 災害防止対策に係る計画及び措置

### (1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

浜坂温泉郷内には、味原川、久斗川、段川、田君川を支流とする二級河川岸田川が日本海に注いでおり、これらの河川に沿って集落や平坦な耕地が形成されている。また町の南部は、氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園等、1,000メートル級の山々に囲まれている為、集中豪雨が発生すると、河川が氾濫し床上浸水、土砂災害などが発生している。

#### 主な災害の発生状況

被害状況
<b>【国道178号】</b> 道路法面の風化や集中豪雨の影響から、釜屋～居組間で大規模な法面崩落があった。
<b>【久斗川】</b> 台風19号により、久斗川が氾濫し堤防が決壊した為、公立病院をはじめ、二日市地域は甚大な被害を受けた。
<b>【味原川】</b> 台風襲来や集中豪雨の度に、河川沿いの住民や公共施設が浸水被害を受けた。
<b>【段川】</b> 台風襲来や集中豪雨の度に、河川沿いの住民や公共施設が浸水被害を受けた。

### (2) 計画及び措置の現状

浜坂温泉郷において現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

計画又は措置	計画又は措置の概要	実施主体
土砂災害警戒区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防対策の推進に関する法律に基づき、温泉地のうち、浜坂温泉は18箇所、七釜温泉は6箇所、二日市温泉は7箇所が土砂災害警戒区域に指定され、町地域防災計画において、警戒避難体制に関する事項を策定している。	兵庫県
地域防災計画	災害対策基本法に基づき町長が策定。警戒避難体制に関する事項を策定。災害発生時の迅速な情報収集、伝達手段として防災行政無線、CATVを使った広報や携帯電話のメール配信を利用した情報提供を行うこととしており、災害時の初動体制を確立している。	新温泉町

計画又は措置	計画又は措置の概要	実施主体
岸田川水系河川整備計画	過去の洪水被害を踏まえ、早期にできる限り広範囲にわたって洪水被害を軽減するため、築堤、河道拡幅及び河床掘削等によって流下能力向上対策を実施する。	兵庫県
河川・砂防施設の新設改修	<p>【浜坂温泉】味原川 平成14年に味原川放水路が完成。現在も上流部の改修を継続している。</p> <p>【七釜温泉】段川 平成16年に段川砂防施設改修に着手し、平成22年に完了した。</p> <p>【二日市温泉】久斗川 平成3年に久斗川災害復旧に着手し、平成10年に完了した。</p>	兵庫県
合同訓練	毎年、町・消防・地元住民による災害時の合同訓練を実施している。	新温泉町

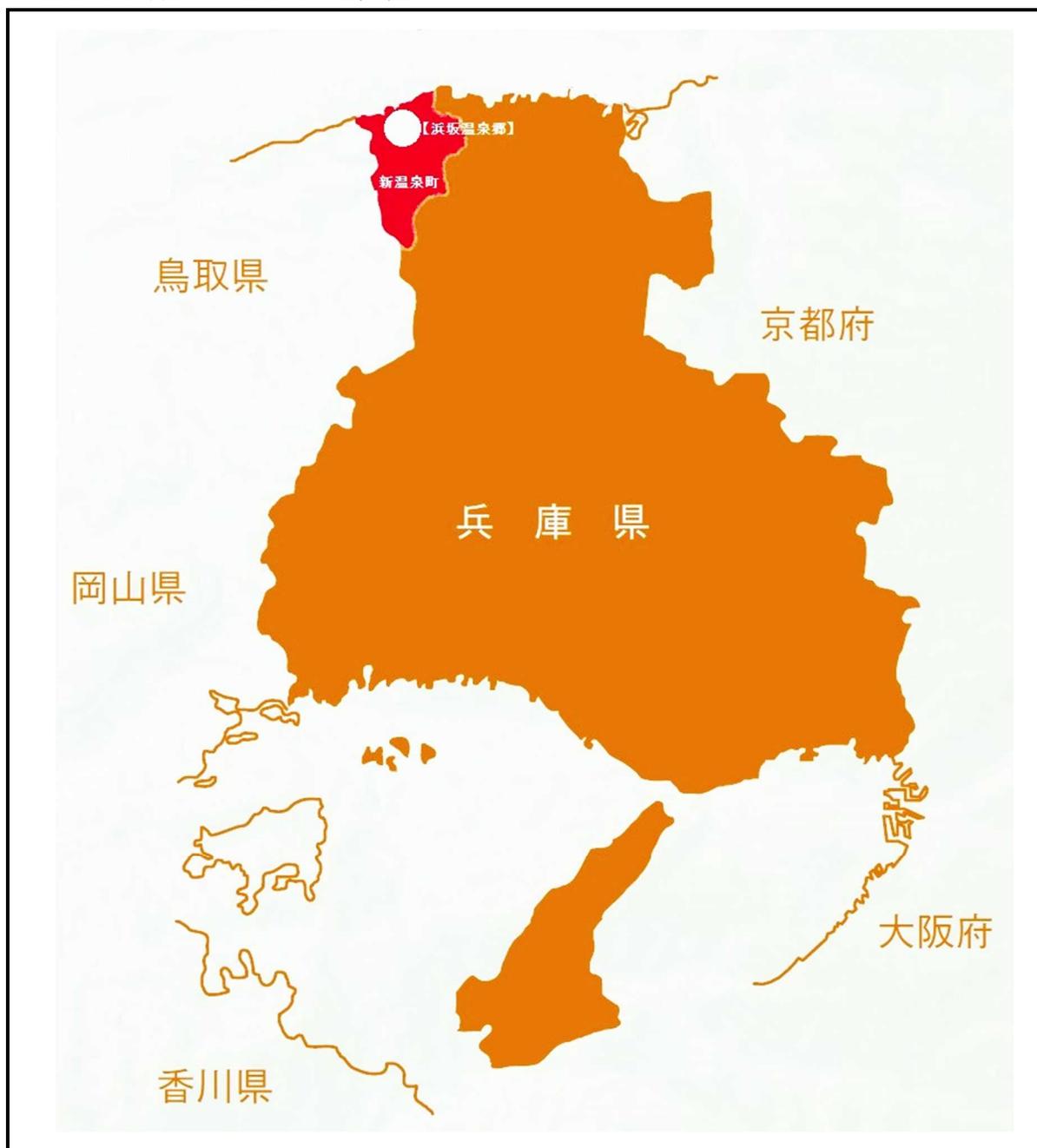
### (3) 今後の取組方策

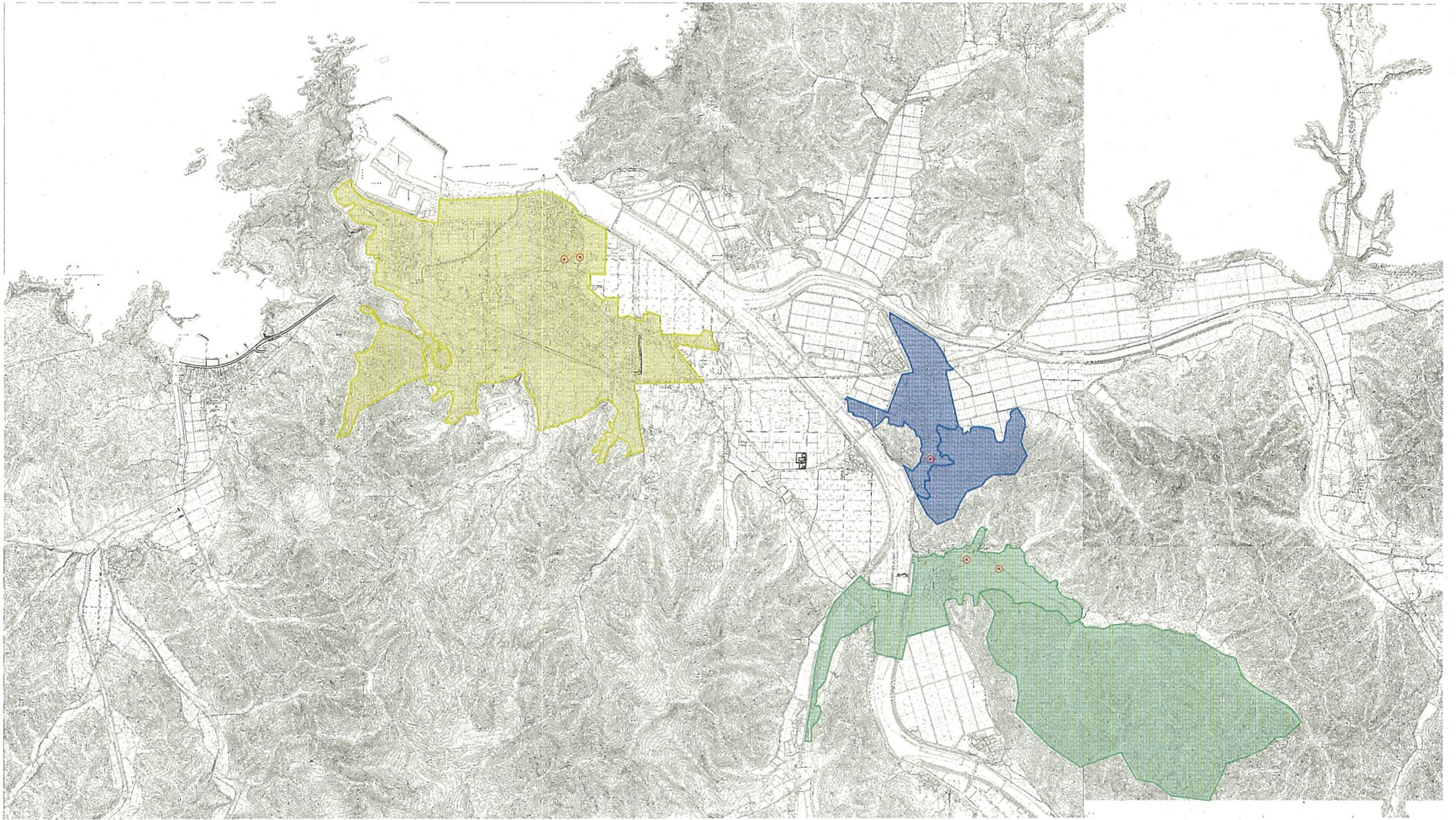
浜坂温泉郷において、災害の防止を図るため、実施主体と調整の上(2)の計画及び措置に基づく取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

取組	実施主体
土砂災害危険区域の実態調査並びに関係機関との情報共有による災害の予兆の早期発見と迅速な災害対応力の育成に取り組む。 新温泉町避難行動要支援者避難支援プランに基づき自力避難者の抽出と避難支援の体制作りの醸成に取り組む。	新温泉町
温泉施設利用者等に対し、避難場所や危険区域を示したハザードマップの掲示。災害発生時の避難マニュアルの定期的な見直しと避難誘導訓練を継続して実施する。	浜坂観光協会 七釜温泉旅館組合 新温泉町
近年の巨大地震等の被害状況を踏まえ、住宅の耐震化を高める、「住宅耐震改修促進事業」に取り組む。	新温泉町
ゲリラ豪雨等の発生が多発する中で、急傾斜の崩壊による災害から住民の生命を保護する「急傾斜地崩壊対策事業」に取り組む。	兵庫県 新温泉町

取 組	実施主体
河川機能を強化し災害の軽減・公共の安全を確保する「河川改良事業」に取り組む。	兵庫県 新温泉町
道路橋梁の点検や補修対策を適切に実施し安全性を確保するため、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき取り組む。	新温泉町

浜坂温泉郷国民保養温泉地位置図





凡 例	
	浜城温泉
	七釜温泉
	二日市温泉
	泉 源
	•

1127年度 国民保養温泉地計画	
浜城温泉郷	
新温泉町 浜城・七釜・二日市 地内	
計画区域図	縮尺
縮尺 1/20000	縮尺
美 方 郡 新 温 泉 町	